



有松 日本遺産に認定される (5月20日)

令和元年 6月1日
有松まちづくりの会

「江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ～藍染めが風にゆれる町 有松～」が文化庁の「日本遺産」に認定されました。

認定証授与式が5月20日に開催され、名古屋市副市長が出席し、地元は服部顧問と藤枝副会長が参列しました。

今後の推進については、名古屋市と当会及び地元各団体と協議し実施することになります。



有松まちづくりの会 総会開催 (5月16日)

名古屋市関係各署の皆様を来賓としてお迎えし、平成31年度(令和元年度)の総会が開催されました。会長の竹田さんは開会挨拶で

- ・ 第40回全国町並みゼミ名古屋有松大会の大会宣言をフォローする
- ・ この町の人が生まれて楽しい人生であったと思える町づくりをしたい
- ・ 重伝建で美しい町を残し、歴史・文化を語り、行ってみたい町にしたい
- ・ 新人役員が11名入る予定で、若返りとともに活動の活性化を図りたい

と述べられました。

提案された議題は役員候補者も含め、全て承認されました。

総会講演会「有松を訪れた頼山陽」 (5月16日)

絞会館の前に江戸時代後期の儒者・詩人・歴史家の頼山陽が有松を訪れた際に詠った詩歌の石碑があります。

頼山陽の足跡を研究されている頼山陽ネットワークの山根兼昭さんをお招きして、研鑽を深めました。

お話によると、頼山陽34歳の1813年、美濃へ揮毫旅行に出かけた折りに名古屋を訪れました。その際、かねて交友のあった蒔絵師山本春生の妻が有松井桁屋2代目の娘ということから井桁屋に一泊することとなりました。その折りの感銘などを詠ったものです。

最後に朗々と吟じていただきました。



講師 山根兼昭氏

有松あないびとの会 新作紙芝居「お灸と指輪」発表（5月9日）

有松あないびとの会では、以前よりガイド活動の一環として紙芝居制作を進めてきました。3作目となる「お灸と指輪」の完成披露が、あないびとの会例会で行われました。

かつて有松で医院を開業されていた棚橋龍三先生が体験されたことを、娘である棚橋恭子さんの目を通して語られたものです。太平洋戦争末期、有松駅近くに設置されていた捕虜収容所で捕虜の治療にあたった棚橋先生と捕虜のアメリカ人軍医との友情物語。

浅野康子さん文、福岡友一さん絵。福岡さんは当時小学5年生。資料は白黒写真があるだけ。「記憶を頼りに、木造の電車は緑色で屋根は茶色に描いた。夜、寝ていて思いだし、忘れないうちに描こうと起きたこともある」と。完成に一年近くかかったとのことでした。



紙芝居「お灸と指輪」

現代の朝鮮通信使 有松に行く（5月9日）

今年も「朝鮮通信使」をお迎えすることができました。有松あないびとの会有志10名が絞会館前で、「行ってらっしゃい」と日本語と韓国語で声かけをしました。一行20数名、韓国から東京まで歩き通す方も少なくないそうです。江戸時代、有松にも休憩で立ち寄ったことが知られています。今も昔も旅人への温かいもてなしが有松には息づいています。



絞会館前の様子

有松学区 一斉町美（まちび）運動（5月19日）

令和になって最初の有松学区一斉町美運動が、早朝より各町内毎ままって、自宅周辺及び周辺道路沿いのゴミ拾い・草むしり等を行いました。暑い中での作業でしたが、皆さん黙々と作業をしていました。また合間には隣人同士、会話に花を咲かせていました。一時間ほどで町美活動は終了しました。梅雨の季節を前に町内、さっぱりきれいになりました。お疲れ様でした。



町美活動の様子

NPO法人コンソーシアム有松 総会を開催（5月22日）

竹田家三番蔵にて令和元年度の総会が開催され、名古屋市観光文化交流局の松雄局長はじめ多くの来賓の方々や会員の出席のもと事業計画などについて承認されました。

日本遺産認定の吉報早々の開催で、有松の伝統・文化を広く周知していくにあたってのコンソーシアム有松の活動の充実が急務であるとの熱意が感じられました。総会後には、コンソーシアム有松の呼びかけで開発された「有松グルメ」と「有松みやげ」の試食会が行われ、各店「有松」をキーワードに工夫を凝らした食品に、参加者は舌鼓を打っていました。



総会風景 竹田家三番蔵

有松あないびとの会 町並み歩き「ふるさと有松を体感しよう」 (5月18日)

新たな時代をお祝いする5月に、有松あないびとの会の案内で町並み歩きを楽しんでいただこうと会が開催されました。

当日は好天に恵まれ、定員の200人を越える皆さんが参加されました。新緑の中、爽やかな風に後押しされて、20人のあないびとが町並みを案内しました。

Aコース「古道長坂道と東海道」では、東海道よりも古くからあった長坂道を通り、久田家でお抹茶で一服、茶室も拝見。美しい新緑のお庭を眺めての一服は、あたかも江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。着物を着ての参加者も少なくなく、彩りを加えていました。

Bコース「東海道と有松絞り」では、東海道の町並みを歩き、竹田家三番蔵にてハンカチの絞り染めを体験。用意された手蜘蛛絞りなど4種から絞り柄を選び、そのハンカチを濡らしてから染液につけて水洗い、さっと色が変化する様子を体験。糸抜きをしてハンカチを広げるときには、歓声が挙がっていました。

有松の文化を体感していただく企画とともに、両コースとも、名古屋市指定文化財の岡家住宅の建物内部を見学することや、竹田家書院に展示された「故・竹田耕三コレクション展」を見学する事が盛り込まれていました。通常の町並み案内の時には見ることができない内容が含まれていることもあり、参加者の方満足げな様子でした。アンケート用紙には、「いつも文化財の内部が見られるとうれしい」「常にコレクションが見られるような資料館があると良いね」等の声が聞かれました。

《ご案内の様子》



町並み歩き 東町



町並み歩き 西町



岡家住宅



Aコース 抹茶体験



Bコース 絞り染め体験



竹田家書院 展示会

《ご案内して》

絞り研修に3週間滞在されている奥様と長期休暇のご主人をご案内。久田家で緊張してお茶を飲まれ、茶室等を興味深く見ていました。質問もよくされ、関心の深さが伝わってきました。山車会館では、山車の大きさに驚き、からくりに興味津々でした。

時間をオーバー、2時間にわたりご案内しましたが、案内した私にとっても楽しい、勉強になったひとときでした。



予告 第35回有松絞りまつり

江戸時代から400余年続く有松絞り。国の重要伝統的建造物群に選定された有松東海道。その街道一帯で「第35回有松絞りまつり」が6月1日、2日に開催されます。

令和改元に伴い様々なイベントが企画されていますので、皆様のお越しをお待ちしております。また、今回は「日本遺産」に認定された最初の絞りまつりでもあります。多くの皆様と日本遺産認定を祝福したいと思います。

主なイベントは、以下の通りです。

- ・書道家パフォーマンス 万美
- ・絞り回廊 東海道に夏を彩る約30種類の絞りを展示
- ・SHIBORI WORKSHOP いろいろな柄を生み出そう
- ・絞り教室プレミアム 伝統工芸士が縫い絞り指導
染色体験もあり (予約制)
- ・手蜘蛛絞り体験 オリジナルの手拭いやハンカチを制作
- ・天満社マルシェ 天満社で「アリマツマーケット」開催
- ・山車飾り 名古屋市指定文化財3台の山車のからくり実演
- ・マーチングパレード ミス絞りと福男がオープンカーに乗車
- ・古戦場史跡探訪ツアー 「桶狭間古戦場保存会」がガイドツアー
- ・町並みツアー 「あないびとの会」がガイド、よもやまばなし



イベントの詳細は
上記ちらし裏面参照

催事・行事の予定

- 6月1日・2日 09:00 第35回 有松絞りまつり 有松東海道一帯 絞りまつり実行委員会
// 10:30 岡家住宅公開開始(土日公開、来年3月まで)
- 6月09日(日) 10:00 桶狭間古戦場まつり 桶狭間古戦場公園・長福寺 桶狭間古戦場保存会
// 11:00 15:00 捕虜のいた町 棚橋家住宅 捕虜収容所跡を残す会
- 6月16日(日) 13:30 桶狭間古戦場保存会総会 桶狭間公民館 桶狭間古戦場保存会
- 6月17日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 6月18日(火) 09:00 有松あないびとの会研修旅行 岡崎方面
- 6月23日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 6月24日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。

有松のまち

検索